

地域おこし協力隊通信 (No. 21) タケンコで多健康美人

三反園知事が「たつきやのタケンコ組合」へ激励に訪れた記憶はまだ新しい。そんなニガダケをもっと島外に知ってもらおう戦略のひとつとして栄養成分に何かいいことはないかと調べてみた。調べ方が足りないのかニガダケの栄養成分は分からない。鹿児島大学にも論文はなかった。そこで、孟宗竹の栄養成分を調べてみる。結果、ニガダケが孟宗竹と同じ栄養成分なら「聡明な美女美男になれる食品」ということが分かった。(まあ、美男はどうでもいい) その孟宗竹の栄養素。タンパク質、ビタミンB1、B2、E、カリウムの他、パントテン酸、グルタミン酸や食物繊維も多く含まれ、なかにはチロシンとか言うアミノ酸の一種も含まれているようだ。さらにコレステロールはゼロとのこと。そこで、それらの栄養素が甚で云われている効能を列挙する(効能を信じるか信じないかはあなた次第です) 食物繊維は便秘解消、タンパク質は肌や髪などを作る源、ビタミン類はシワやたるみを防ぐ、特にビタミンEは若返りや美肌をつくる、カリウムはむくみ解消、パントテン酸は代謝の促進、グル

タミン酸は脂肪を付きにくくする、チロシンは脳を活性化してくれる、などなど。もしこれだけの栄養素がニガダケにも入っていれば、ちよつとワクワクする。ニガダケで多健康美人(たけんこうびじん)になれる。調子に乗って、体の酸化を防いでくれるβカロテン、アンチエイジングを促進するケイ素などがなく、いかも調べてみたい。さっそく、民間の分析機関に分析依頼の見積もりをお願いしてみた。30万円。これはちよつとしたギャンブル。まさか、世界で一番栄養のない野菜としてギネスに載ってしまった「きゅうり」みたいな評価にならないだろうか。きゅうりの名譽のために云うと、最近の研究では免疫を正常化するBRMがきゅうりにはあることが分かったそう。そんなこんなで名譽を回復したきゅうりのようにニガダケも調べてみなければ分らない。ある意味、孟宗竹を食べればいいのだが、調理しやすく、うまいっ!のは断然ニガダケです。それは三反園知事も応援に来るぐらいだから大丈夫。ということで、ニガダケ調べてもいいですか?

(山村)

県内の青年団大集合 かごしま青年リーダー塾

6月9日から10日の2日間、本町にて「かごしま青年リーダー塾」が行われ、県内の青年団約70人、一般客約30が参加しました。

昨年出水市で行われた当イベントは、読書活動を県内各地に広めるという趣旨の元、今年度は赤米館、広田遺跡ミュージアムを視察した後、中央公民館で種子島の語り部「ぢろの会」の実演や下野敏見先生による講演が行われました。夜は全体で魂震会(こんしんかい)が開かれ、各地域の青年団の現状やこれからの青年団活動についてなど、さらに青年団を盛り上げていこうと語り合いました。

2日目も「ぢろの会」によるわらべうたや紙芝居などの実演があり、最後は鉄砲館を視察し全日程が終了しました。鹿児島県青年団協議会岩崎会長は「種子島の人の良さに触れることができ、中種子町で開催した甲斐があった。次はプライベートで観光に来ます。」と語りました。

